

「個性」と「総合力」

個性ある弁護士たちの力を結集し、
地元京都をはじめとする
皆様のあらゆるニーズにお応えいたします。



京都総合法律事務所メールマガジン 2025年8月号

京都総合法律事務所の野崎隆史です。

過去最高に暑い夏、当事務所も民事再生の代理人として最高に熱い夏を過ごしています。

こんなこと今の何の役に立つの？と思うようなことでも知識をストックする習慣をつけておけば、いざというときに過去の自分が駆けつけてくれることが多々あります。

未来の自分を助けるツールの一つとして、今月もメルマガを始めます。

厳選した情報にコメントをつけてお伝えすることで、皆様の法務免疫力を一緒に高め、

「京都から紛争をゼロにする。」

を実現していきたいと思っています。

メルマガ特典である過去に開催したセミナーのテキストや各種雛型等の無料ダウンロードURLは編集後記に記載しています。どんどんダウンロードしてください。

このメルマガは無断転送大歓迎です。

<目次>

- 【1】 今月の法律ニュース5選
- 【2】 京都総合法律事務所の使い方
- 【3】 編集後記

【1】 今月の法律ニュース5選

第5位 ニュースサイトのクリック数が激減。Googleからの流入ゼロ時代に人類はどう生きるのか。

皆様大好きGoogle先生。私も何でもGoogle先生に聞きますし、法律相談でも私の回答をGoogleで確認される場面もしばしば...

そんなGoogle先生、最近は関連するサイトではなく、「AI による概要」がトップに表示されます。

その結果どうなったか。

Googleに「検索エンジンの検索結果のクリック率を教えてください」と質問すると、「AI による概要」で、

一般的に、検索結果の1位に表示された場合のクリック率は約4割に達し、その後順位が下がるにつれて急激に低下します。1位：約39.8、2位：約18.7、3位：約10.2、4位：約7.2。

と教えてくれました。

その後に検索結果のサイトが表示されますが、欲しい情報が手に入ったので、もうそのサイトにはアクセスしませんよね。

実際、アメリカの調査結果ですが、ニュースサイトのクリック数が激減しているようです。

3年前との比較で、

- The New York Times：約8%ダウン
- The Wall Street Journal：約5%ダウン

のようです。これらはまだ持ちこたえているようですが、

- Huffington Post：約50%ダウン
- Business Insider：約55%ダウン

という衝撃的な結果のようで、編集部の21%をレイオフ（解雇）したとの情報もあります。

Googleからの流入ゼロ時代に突入しそうな勢いですが、そうするとGoogleはリスティング広告で稼げなくなるので、自縄自縛？

とはいえ、他の検索エンジンに乗り換えられないためにも当面は「AIによる概要」のブラッシュアップを続けざるを得ないように思います。

そして、その間に新たなビジネスモデルを考案するのでしょうか。

今後のGoogleの行く末はAI時代の人類の生き抜き方をの手掛かりになりそうだなと思っています。

気がかりなのは、GoogleのAIの結果は大規模言語モデル（LLM）に基づくものですので、AIによってニュースサイトの淘汰が始まると、新しい情報になればなるほどLLMのソースが乏しくなり、単一の価値観や意見に偏った「AIによる概要」が表示されるのでは？という点です。

均一化された「AIによる概要」で学んだ人類が均一化した思想になることは容易に想像がつきます。

社会から寛容性が失われ、持続可能なものでなくなると、革命が起き、血が流れ、新たな国家が樹立されるというのが人類の歴史でした。

同じ轍を踏むのでしょうか。

LLMの健全性の維持のために少数意見を保護する政策を取れば解決？

そうすると次は、保護に値する少数意見はどの範囲なのか、それをどう決めるのか、切り捨てた少数意見の中に人類に必要なものが無いことをどうやって担保するのか。

「マイノリティ・リポート」をもう一度観たくなってきました。

第4位 読売新聞社、Perplexity社を提訴。人類とAIとの戦いの始まり？人類の分断の加速？

2025年8月7日、読売新聞社がPerplexity社を提訴しました。

Perplexity社のAI検索において、読売新聞の記事を無断で利用しているというのが訴えの理由で、記事の利用差止めと約21億6800万円の損害賠償を求めているようです。

これまでの検索エンジンは利用者に読売新聞オンライン（YOL）への訪問を促し、広告収入をもたらしていたのに対し、Perplexity社のサービスを利用したユーザーはYOLを訪問する率が下がるため、広告収入が減少している点も損害賠償の理由のようです。これは第5位の内容とも関連する内容ですね。

YOLにおいて、読売新聞社は、

取材の成果へのただ乗りを許せば、取材に裏付けられた正確な報道に負の影響をもたらし、民主主義の基盤を揺るがしかねない。訴訟を通じ、急速に普及する生成AIの規律や利活用のあり方を問いたい。

とコメントしています。

LLMのソースが均一化する危険は第5位のところで指摘させていただきましたが、LLMが「取材に裏付けられた正確な報道」をソースにできないとなると、「AIによる概要」と「取材に裏付けられた正確な報道」が乖離することによるニューメディアの視聴者層とオールドメディアの視聴者層との分断はより加速しそうですね。

同じ地域に住んでいるのに、同じ家に住んでいるのに、全く違う世界に生きているようなことが生じそうです。

先月号ではAI社外取締役爆誕のニュースをご紹介させていただきましたが、本格的に人類とAIとの戦いが始まりつつある？

それとも、接するメディアの違いによる人類の分断の加速？

「ターミネーター」をもう一度観たくなってきました。

[この訴訟に関するYOLの記事はこちら](#)

第3位 SDGsコンプライアンス簡易チェックリスト

東京弁護士会中小企業法律支援センターSDGsPTが「SDGsコンプライアンス簡易チェックリスト」を作成し、2025年8月19日、東京弁護士会のHPにアップされました。

東京弁護士会では、既に、

- SDGsコンプライアンスチェックリスト
- SDGsコンプライアンスチェックリストの手引き

を公表していましたが、より簡易迅速にSDGsコンプライアンスの遵守状況等をチェックできるように簡易チェックリストが作成されたようです。

20項目に0～3点を入力すれば、SDGsコンプライアンスの遵守状況がグラフに反映され一目で分かる形となっていて、とても分かりやすいです。

試しに入力してみましたが、1分かからず入力できます。

ぜひご活用ください！

[簡易チェックリストはこちら](#)

第2位 公正取引委員会謹製のフリーランス法解説動画

2024年11月1日にフリーランス法が施行され、公正取引委員会が特設サイトを開設したり、違反申出窓口を設置したり、精力的に活動しています。

2025年8月5日には、公式YouTubeに「ポイント解説勧告事例」がアップされました。

先般なされた音楽教室の運営会社に対する勧告について、約8分で解説されており、なぜフリーランス法違反になるのかよくわかる内容となっています。

法務担当・労務担当は必須受講です。

公取の解説動画はこちら

ちなみに、弁護士リチャードソンからはXにて

兼業副業推進などとおっしゃる政府が本気でフリーランスを守...おっと誰か来たようだ

と辛口コメントをいただいております。

公取の本気を見せていただきましょう（笑）

そんな弁護士リチャードソンの最近の1.5万インプレッションのポストはこちらです。

従業員の引き抜きがけしからぬから訴えてやる、というお気持ちはごもっともですが、裁判例で上がってくるのは、見るからに「ごっそり」の事例で、かつ、辞める前から引き抜く気満々のメール等の証拠があったケースでして(東京地判R7.1.22)。静かに辞めた者に何人か付いていったという程度ではなかなか

このポストの続きも1万インプレッションを目指せるところまで来ています。

こちら「顧客を盗られた」という場合も同様に、客側の選択だとされてしまうと非常に厳しい話です。すでに盗られてしまっている客は、もうあっち側の味方なわけで、「そちらのサービスが悪かったからですが？あな

た、まず鏡をご覧になってはいかが？」などと悪役令嬢ムーブをぶつけられることもです。

弁護士リチャードソンのXをフォローしておくと、最先端の労働情報やセミナー情報を自然にキャッチアップできますよ。

弁護士リチャードソンのXはこちら

第1位 宇宙スキル標準。子供の頃の夢。

商事法務のメルマガを見ていたら、

■内閣府、宇宙スキル標準について（19日）

という記載があり、脊髄反射でクリックしていました。

「宇宙スキル」とは何ぞ？と思って読むと、

ロケットや人工衛星の研究・設計・開発・製造・打上げ・運用・デザイン・提供等の従事者が身につけるべきスキル

と書いているではありませんか！

私、幼い頃より宇宙への憧れがありまして、といっても宇宙兄弟の方ではなく、ヒューストンで働く方です。

「子供の頃何になりたかったですか？」

という質問には、

「ヒューストンで働きたかったです」

と答えてきました。

「アポロ13」や「アルマゲドン」を観ても、なぜかヒューストン側で固唾を飲んで見守り、成功に安堵し、ガッツポーズして讃え合う側に感情移入してしまいます。

「取扱説明書」や「業務・スキル概説書」には、57個の業務、94個のスキルが整理されていますが、この中ですと、コーポレート系の業務やスキルであればワンチャンある？

でも、子供の頃のイメージからすると、工学系・技術系の業務やスキルがやりたかったことですね。

8月の終わりに「夏の夜の夢」を夢想してみました。

「宇宙スキル標準」はこちら

<おまけのYouTube>

- 最高裁判例解説 事業主は保険料が上がることを理由に労災給付決定を争えるのか
- 最高裁判例解説 懲戒免職された公務員が退職手当をもらえないのは当然？
- 最高裁判例解説 職種限定合意がある従業員に配置転換「命令」を出せるのか
- 最高裁判例解説 事業場外みなし労働時間と「労働時間を算定し難いとき」
- 「労働条件明示事項に関する法改正」「無期転換権行使の機会付与」
- 令和5年の最高裁判例 5分で押さえるワンポイント開設
- 最高裁判例解説 何がポイント？運送業者の賃金体系
- 最高裁判例解説 これからどうなる？同一労働・同一賃金
- 未払賃金と割増賃金

YouTubeはこちら

【2】京都総合法律事務所の使い方

京都総合法律事務所は、訴訟はもちろん、予防法務・戦略法務に力を入れ、訴訟で培った解決力で紛争の芽を摘み取ります。

【リーガルサポート】

従来の顧問契約から一歩進み、**皆様の実情を積極的に理解し、適切な対応を瞬時に行う**という信念に基づいてサービス内容を可視化し、明確にしました。

リーガルサポートはこちら

【契約書サポートプラン】

契約書を制する者がビジネスを制す。体裁を整えるだけでは不十分です。

契約書サポートプランはこちら

京都総合法律事務所が“矜持と覚悟”をもって臨む契約書チェックサービス。 AIと協働し、AIを超える職人的な活動の裏にある想いとは。

PRTIMES STORYはこちら

【ハラスメント外部通報窓口・公益通報窓口】

京都総合法律事務所では、ハラスメント外部通報窓口業務・公益通報窓口業務を承っており、上場企業、大学、病院等での実績があります。窓口は即日開設可能です。

ハラスメント相談通報窓口はこちら

【広告チェック】

景品表示法違反による多額の課徴金、薬機法違反による逮捕や刑事罰。広告チェックの重要性はますます高まっています。

広告チェックはこちら

SNSでの広報活動で炎上しないためのポイントを整理しました。

ちょこっと弁護士Q&Aはこちら

【カスハラ・クレームガード】

「クレームガード」で「お客様は神様です」の誤解を解き、会社と従業員を守りましょう。

クレームガードはこちら

【社外取締役・社外監査役】

社外取締役や社外監査役の適切な関与により、ブランド価値、レピュテーション等の社会的評価を含めた企業価値を持続的に成長させて中長期的に向上させることができます。課題、将来展望、お求めのスキル、注力分野、年齢層、ご予算等を踏まえて最適な弁護士をご紹介します。

社外役員のお問い合わせはこちら

8月号いかがでしたか？

メルマガ特典の無料ダウンロード先はこちらです。

各種無料ダウンロードはこちら

我らが阪神タイガース。先月号ではマジック点灯期待という状況でしたが、今日（8/24）の勝利でマジック16。

石井大智選手、世界記録おめでとうございマッスル！

それにしても藤川球児監督のマネジメントは素晴らしいですね。ピッチャーをケガさせずにうまく使うのはさすがですが（それにしても及川雅貴選手のタフネスさよ...）、ショートとレフトを競争ポイントにして野手を含めてチームの底上げをしながら勝つというのは、何と言うか、もはや名将としか言いようがなさそうです。インタビューの発言も貫禄たっぷりですし。

歓喜の瞬間まで座して待ちましょう。

F1はいよいよサマーブレイク明け。角田裕毅選手、大丈夫、Let's Go！

今週末、オランダで少しの運が味方しますように。

Audibleは、「源氏物語」がようやく「玉鬘」まで終わりましたので休憩し、「同志少女よ、敵を撃て」で本屋大賞を受賞された逢坂冬馬さんの「ブレイクショットの軌跡」を聴いているところです。

弁護士リチャードソンのXや転送等でこのメルマガを知っていただいた皆様、ぜひご登録いただけますと励みになります。

メルマガご登録はこちら

熱い夏はまだまだ続く。皆様に朗報をお届けすべく全力を尽くします。

それではまた来月！

（弁護士 野崎隆史）

本メールマガジンは、顧問先の皆様、HPからご登録いただいた方、当事務所が過去に連絡先を交換させていただいた方、セミナーにご参加いただいた方にお送りしています。

ご意見、ご要望、送信先変更、配信停止等は、以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

今後とも皆様のお役に立てるよう研鑽を重ねます。

ご連絡はこちら

【京都総合法律事務所】

〒604-0924

京都市中京区河原町二条南西角 河原町二条ビル5階

TEL 075-256-2560

FAX 075-256-2561

京都総合法律事務所コーポレートサイトはこちら

このメールの配信元： nozaki@kyotosogo-law.com 宛先 nozaki@kyotosogo-law.com

興味が無い場合 [登録解除](#)

京都総合法律事務所 | 京都市中京区河原町二条南西角河原町二条ビル5階